



平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 一正蒲鉾株式会社

コード番号 2904 URL <http://www.ichimasa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野崎 正博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 滝沢 昌彦

TEL 025-270-7111

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第2四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	19,386	3.2	758	△40.8	849	△33.9	593	△31.0
26年6月期第2四半期	18,790	6.6	1,280	6.3	1,285	7.4	859	35.0

(注)包括利益 27年6月期第2四半期 977百万円 (5.7%) 26年6月期第2四半期 924百万円 (40.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第2四半期	64.04	—
26年6月期第2四半期	92.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年6月期第2四半期	29,514	9,727	33.0	1,050.19
26年6月期	23,875	8,842	37.0	954.63

(参考)自己資本 27年6月期第2四半期 9,727百万円 26年6月期 8,842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年6月期	—	—	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当金の修正につきましては、本日公表の「創業50周年記念配当に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,700	3.9	400	△67.3	400	△66.0	100	△92.1	10.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期2Q	9,295,000 株	26年6月期	9,295,000 株
27年6月期2Q	32,354 株	26年6月期	32,308 株
27年6月期2Q	9,262,685 株	26年6月期2Q	9,261,423 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年7月1日～平成26年12月31日)におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策を背景に、輸出企業の業績及び雇用環境の改善など緩やかな回復基調にあるものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や天候不順の影響により個人消費の回復は鈍く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましても、節約志向・低価格志向は依然として根強く、消費者ニーズの多様化や価格競争の継続など、厳しい状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループでは最優先に取り組んでおります「安全・安心」な商品の提供を念頭にお客様の消費動向を捉えながら、効果的な販売促進施策の推進により売上高の拡大に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高193億86百万円(前年同四半期比5億95百万円(3.2%)の増加)、営業利益は7億58百万円(前年同四半期比5億22百万円(40.8%)の減少)、経常利益は8億49百万円(前年同四半期比4億36百万円(33.9%)の減少)、四半期純利益は5億93百万円(前年同四半期比2億66百万円(31.0%)の減少)となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績の概況は以下のとおりであります。

① 水産練製品・惣菜事業

当セグメントにおきましては、消費税率引き上げ以降、消費者の購買意欲が高まらないなか、秋以降は全国的に大雨や気温が高い日が続くなど天候不順が重なったことから、水産練製品の最大需要期の立ち上がりは例年より遅れが見られました。

このような環境のなか、新製品の発売ならびに製品リニューアルなどの販売促進施策により「竹輪」・「揚物」商品群は堅調に推移し、さらに12月のおせち商品群も前年同四半期を上回る売上高となりました。

一方、主に原材料、エネルギーコスト等の高騰による生産コスト上昇により利益面では前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は168億24百万円(前年同四半期比7億76百万円(4.8%)の増加)、セグメント利益(営業利益)は3億83百万円(前年同四半期は7億57百万円のセグメント利益(営業利益))となりました。

② きのこと事業

当セグメントにおきましては、野菜相場は8月中旬以降は台風、冷夏の天候不順で価格高となりましたが、秋以降は気温が高い日が続いたため下落するなど、きのこ価格も大きく影響を受けるなか、節約意識の高まりや需要と供給の環境により厳しい状況で推移し、売上高・利益とも前年同四半期を下回る結果となりました。

また、海外連結子会社の販売数量未達に伴う創業赤字が生じたことも利益の減少要因となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は23億25百万円(前年同四半期比24百万円(1.0%)の減少)、セグメント利益(営業利益)は2億63百万円(前年同四半期は4億64百万円のセグメント利益(営業利益))となりました。

③ その他

運送事業におきましては、定期輸送便の一部終了等により売上高は前年同四半期を下回ったものの、物流機能の効率化に努めた結果、利益は前年同四半期を上回る結果となりました。

倉庫事業におきましては、新規入庫は低調に推移いたしましたが在庫量を高い水準で維持し、また効率的な庫内管理に努めた結果、売上高・利益とも前年同四半期を上回る結果となりました。

なお、平成26年3月にゴルフ場事業を譲渡しております。

以上の結果、報告セグメントに含まれないその他の売上高は2億36百万円(前年同四半期比1億57百万円(39.9%)の減少)、セグメント利益(営業利益)は1億3百万円(前年同四半期は41百万円のセグメント利益(営業利益))となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は105億24百万円（前連結会計年度末比36億20百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による売掛金の増加によるものであります。

② 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は189億89百万円（前連結会計年度末比20億18百万円の増加）となりました。これは主に水産練製品製造設備の機械装置及び運搬具の増加によるものであります。

なお、海外連結子会社の工場竣工により、建設仮勘定から建物及び構築物、機械装置及び運搬具等に振替を行っております。

③ 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は137億22百万円（前連結会計年度末比47億45百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による支払手形及び買掛金ならびに運転資金の増加に伴う短期借入金の増加によるものであります。

④ 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は60億64百万円（前連結会計年度末比8百万円の増加）となりました。これは主に長期借入金やその他（リース債務）の増加ならびに社債の減少によるものであります。

⑤ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、四半期純利益の計上ならびにその他有価証券評価差額金の増加や配当金の支払等により97億27百万円（前連結会計年度末比8億85百万円の増加）となり、自己資本比率は、季節的要因による流動資産ならびに有形固定資産の増加などにより総資産が増加したため、前連結会計年度末の37.0%から33.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成27年2月6日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,424,295	966,316
売掛金	2,571,606	6,636,836
商品及び製品	430,424	591,008
仕掛品	627,014	427,771
原材料及び貯蔵品	1,329,722	1,560,874
その他	520,755	343,452
貸倒引当金	△666	△2,143
流動資産合計	6,903,153	10,524,117
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,400,545	7,842,327
機械装置及び運搬具(純額)	2,742,805	3,870,231
工具、器具及び備品(純額)	107,935	147,791
土地	3,342,383	3,326,383
リース資産(純額)	40,965	159,688
建設仮勘定	2,164,036	150,382
有形固定資産合計	13,798,672	15,496,804
無形固定資産	384,845	405,877
投資その他の資産		
投資有価証券	2,113,906	2,395,837
その他	707,363	715,989
貸倒引当金	△32,916	△24,516
投資その他の資産合計	2,788,353	3,087,311
固定資産合計	16,971,872	18,989,994
資産合計	23,875,026	29,514,111
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,946,476	2,925,593
短期借入金	4,384,504	6,821,344
未払法人税等	20,131	230,936
賞与引当金	56,461	57,191
未払金及び未払費用	1,399,506	2,219,432
その他	1,170,135	1,467,847
流動負債合計	8,977,214	13,722,345
固定負債		
社債	2,630,000	1,887,500
長期借入金	2,782,310	3,129,346
役員退職慰労引当金	182,182	190,148
その他	460,856	857,249
固定負債合計	6,055,348	6,064,243
負債合計	15,032,563	19,786,588

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	6,413,043	6,913,631
自己株式	△15,499	△15,569
株主資本合計	7,987,544	8,488,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	760,383	974,714
為替換算調整勘定	94,534	264,745
その他の包括利益累計額合計	854,917	1,239,460
純資産合計	8,842,462	9,727,523
負債純資産合計	23,875,026	29,514,111

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
売上高	18,790,873	19,386,388
売上原価	13,570,932	14,714,584
売上総利益	5,219,940	4,671,804
販売費及び一般管理費	3,939,136	3,913,243
営業利益	1,280,803	758,560
営業外収益		
受取利息	188	434
受取配当金	13,249	12,335
受取賃貸料	7,201	6,696
受取手数料	6,000	7,971
為替差益	20,184	121,346
雑収入	20,285	25,112
営業外収益合計	67,109	173,897
営業外費用		
支払利息	61,927	71,171
雑損失	207	12,021
営業外費用合計	62,135	83,193
経常利益	1,285,778	849,264
特別利益		
固定資産売却益	6,075	1,829
投資有価証券売却益	—	1,858
受取賠償金	622	623
補助金収入	41,633	166,781
受取保険金	13,938	—
特別利益合計	62,269	171,092
特別損失		
固定資産除却損	10,784	5,454
固定資産売却損	176	1,224
特別損失合計	10,960	6,679
税金等調整前四半期純利益	1,337,087	1,013,678
法人税、住民税及び事業税	609,082	235,835
法人税等調整額	△131,448	184,627
法人税等合計	477,634	420,463
少数株主損益調整前四半期純利益	859,453	593,214
四半期純利益	859,453	593,214

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	859,453	593,214
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60,319	214,331
為替換算調整勘定	5,191	170,211
その他の包括利益合計	65,510	384,542
四半期包括利益	924,963	977,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	924,963	977,757
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,337,087	1,013,678
減価償却費	600,425	736,208
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△20,852	1,477
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,233	730
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	22,733	7,966
受取利息及び受取配当金	△13,438	△12,770
支払利息	61,927	71,171
為替差損益(△は益)	△25,630	△96,660
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,858
固定資産売却損益(△は益)	△5,898	△605
固定資産除却損	10,784	5,454
売上債権の増減額(△は増加)	△3,479,371	△4,209,532
たな卸資産の増減額(△は増加)	△120,631	△184,085
仕入債務の増減額(△は減少)	1,419,401	1,017,007
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	503,803	723,640
受取賠償金	△622	△623
その他	9,842	143,930
小計	298,327	△784,870
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△437,561	211,768
賠償金の受取額	622	623
営業活動によるキャッシュ・フロー	△138,611	△572,478
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	10,014	144,929
有形固定資産の取得による支出	△2,189,080	△2,134,420
有形固定資産の売却による収入	2,033	18,294
無形固定資産の取得による支出	△5,678	△18,321
投資有価証券の取得による支出	△3,027	△3,040
投資有価証券の売却による収入	3,500	3,733
利息及び配当金の受取額	13,658	12,760
その他	8,956	△6,647
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,159,623	△1,982,712
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,600,000	2,390,000
長期借入れによる収入	1,596,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△694,528	△772,774
社債の償還による支出	△172,500	△242,500
利息の支払額	△49,283	△70,640
配当金の支払額	△92,632	△92,626
その他	△8,474	△18,356
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,178,581	2,193,101
現金及び現金同等物に係る換算差額	88,352	49,040
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	968,699	△313,049
現金及び現金同等物の期首残高	1,238,145	1,146,972
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,206,844	833,923

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,047,268	2,349,961	18,397,230	393,643	18,790,873	—	18,790,873
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,208,458	1,208,458	△1,208,458	—
計	16,047,268	2,349,961	18,397,230	1,602,102	19,999,332	△1,208,458	18,790,873
セグメント利益	757,971	464,354	1,222,326	41,998	1,264,324	16,479	1,280,803

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫事業、ゴルフ場事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額16,479千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,824,219	2,325,780	19,149,999	236,389	19,386,388	—	19,386,388
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,285,908	1,285,908	△1,285,908	—
計	16,824,219	2,325,780	19,149,999	1,522,298	20,672,297	△1,285,908	19,386,388
セグメント利益	383,491	263,711	647,203	103,906	751,110	7,450	758,560

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない運送・倉庫事業セグメントであります。

2. セグメント利益の調整額7,450千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。